

2023 年度JKA補助事業(児童発達支援センターの建築)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 : 2025年1月31日(金)

・提出先 : p2023hyoka@keirin-autorace.or.jp

《2023年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考になしてください。

* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

2023年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

【記入にあたっての注意点】

整理番号	2023P -	130	補助事業者名	社会福祉法人〇〇〇	補助事業名	児童発達支援センターの建築
------	---------	-----	--------	-----------	-------	---------------

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

2023年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)

作成年月日	2025	年	1	月	25	日	作成者	競輪 花子
-------	------	---	---	---	----	---	-----	-------

◆作成日、作成者を記入してください。

1. JKA補助 建築について(2023年度補助事業で建築された児童発達支援センターについてご記入ください)

施設の種類	児童発達支援センター		
建築施設名	〇〇〇〇〇〇〇	構造	木造平屋建て
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延面積	482.20 m ²
建築した施設の形態 (選択してください)	<input type="radio"/> 福祉型児童発達支援センター <input type="radio"/> 医療型児童発達支援センター		
建築した施設の特長	発達につまずきや遅れがあるお子さんを対象に、発達に関する相談・支援を行っています。利用児童が活動しやすい環境を整えるための療養室を新たに設置することができました。また、広々とした遊戯室も設けております。		

◆今回建築した児童発達支援センターの施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築した児童発達支援センターの建物の構造(例: 木造平屋建て 等)を記入してください。
「延面積」欄には、今回建築した児童発達支援センターの延面積(m²)を記入してください。
(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆施設の形態についてあてはまるものをひとつ選択してください。

◆今回建築した児童発達支援センターの特長(特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日		2024	年	3	月	1	日	①	形態別						④
運用月		児童発達支援センターの延べ利用者数(人) ※1	児童発達支援センターの稼働日数※2	1日平均利用者数 (※1/※2)	【福祉型】			【医療型】							
					①児童発達支援	②放課後等 デイサービス	③保育所等 訪問支援	④その他	⑤医療型児童 発達支援	⑥その他					
1	2024年 1 月	↑	↑												
2	2024年 2 月	②	③												
3	2024年 3 月	274	20	13.7	190	78	6								
4	2024年 4 月	317	22	14.4	212	102	3								
5	2024年 5 月	373	19	19.6	275	90	8								
6	2024年 6 月	337	22	15.3	221	108	8								
7	2024年 7 月	377	21	18.0	285	90	2								
8	2024年 8 月	129	10	12.9	68	54	7								
9	2024年 9 月	367	20	18.4	250	114	3								
10	2024年 10 月	362	22	16.5	239	120	3								
11	2024年 11 月	363	20	18.2	241	113	9								
12	2024年 12 月	240	13	18.5	166	72	2								
計		3,139	189	(月平均) 16.6	2,147	941	51	0	0	0					

- ◆① 今回建築した児童発達支援センターの利用を開始した日にちを記入してください。
- ◆② 今回建築した児童発達支援センターを利用した月ごとの延べ人数を記入してください。
(例: 同一人物がその月に10日間利用した場合、10人とカウントする。)
- ◆③ 今回建築した児童発達支援センターを稼働させた日数を記入してください。
- ◆④ 児童発達支援センター(訪問支援を含む)の延べ利用者数のうち、【福祉型】【医療型】の当てはまる方について内訳をご記入ください。

★上記活動内容について、具体的に記入下さい。

【福祉型】	①児童発達支援	児童の健康状態や特性に合った無理のない活動を行っている。全員が参加できるゲームや音楽活動。月1回の体操教室や芸術、創作活動、イベント参加等、お子様それぞれに合った活動を提供できるよう工夫している。
	②放課後等デイサービス	個別支援計画に基づく個別療育のほか、音楽やゲーム等の集団活動を行う。施設外活動や季節の行事も大切にしている。モニタリングとケース会議を定期的に行い、課題解決のための具体的な働きかけを日々の活動に反映させている。
	③保育所等訪問支援	障害のある子どもが集団生活を送りやすくするために、専門知識を持った支援員が保育所に訪問し、さまざまな困りごとに対応し子どもが楽しく快適に過ごせるように支援します。
	④その他	
【医療型】	⑤医療型児童発達支援	
	⑥その他	

- ◆活動内容についてそれぞれご記入ください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

- a. 個別の評価項目について、交付要約書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。
○採点基準については、2023年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

(1) 受益者 (ニーズ)	地域の障害のある児童を施設に通所させることによって、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行い地域で暮らせるよう支援する。			採点
				4
(2) 事業 内容	事業の 新規性	それぞれの障害に合わせた療育を行うことができ、自立に向けた支援活動のための環境整備がされたことによって個別・集団活動だけでなく、親子活動の援助が可能になった。		採点
			4	
(3) 達成 目標	事業の 発展性	多目的室を設置したことにより、地域団体の町内活動やサークル活動、企業研修や会議等に使用されるなど地域社会及び地域住民への貢献ができた。また、それにより、地域住民の当法人の福祉活動や障がい者に対する理解・周知に役立っている。		採点
			4	
(3) 達成 目標	事業の 成果・波及	達成値	達成状況	採点
	※自己評価1回 目から変化が あった場合に ご記入ください。	施設利用者数 月平均17名	113%	施設開設当初は月平均利用者が15名程度だったが、現在は若干利用者数も増え、目標に達している。

- ◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

- ◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。
!! 注意 !! 達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2／5) 3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

適切な環境設定が可能となり、利用児一人ひとりに合わせた療育を行うことができるようになったため、通所する児童はもとより職員のモチベーションも向上させることができた。
結果、専門性の高い支援を行うことができ、子供の成長を感じられる保護者からも喜びの声が聞こえるようになった。

◆事前計画／自己評価書(2／5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

3. この施設に対する通所児の保護者及び施設職員の声をご記入ください。

保護者:施設がきれいになって、子ども通所を楽しみにするようになった。
職員:新しい施設で利用者の方も喜んでいて、以前より活動しやすくなった。

◆今回建築した児童発達支援センターについての感想など、通所児の保護者及び施設職員の声を記入してください。

4. この施設に対する地域の方の声をご記入ください。

子ども達が頑張って施設前の掃除をしている姿や、元気に挨拶してくれる姿に好感もてる。
多目的室もきれいで使いやすい。施設で行われる行事に参加するのも楽しみ。

◆今回建築した児童発達支援センターについての感想など、地域の方の声を記入してください。

5. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください。
(自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミ等の取材を受けた実績等があれば、ご記入ください)

- ・当法人ホームページ及び当法人発行の機関誌に掲載。
- ・〇〇新聞(2024年〇月〇日)に掲載。

◆今回建築した就労支援施設について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

6. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生などの有識者等)のコメントを自由にご記入ください(できるだけ2名以上の論評者及びコメントを記載してください)。

障がい児の療育が不足する地域で、新しい受け入れ先となっており、また、地域に開かれた福祉の拠点として大きな役割を果たしている。
施設を訪問した際、落ち着いた心地よい雰囲気を感じられ、この雰囲気、空間であれば利用児が安心して過ごすことができると感じた。(当法人監事)

多目的室を設置し、地域住民に利用してもらっているが、今後も多く利用してもらい地域の人々が集う場所となっていくことを期待している。
(〇〇市福祉 事業課 担当者)

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等のコメントを記入してください。

7. 児童発達支援センターを運営するにあたり、施設独自の課題があればご記入ください。

今まで以上に更なる利用児童の様々な特性に応えることができる体制を整えることも必要となってくるが、資金面での課題も多い。

◆今回建築した児童発達支援センターの運用についての課題があれば記入してください。

8. 児童発達支援センターを取り巻く状況や課題をお聞かせください。

利用希望者が多く、施設の受け入れ人数を大きく上回っているため、療育が必要なすべての児童を援助することが困難。

◆児童発達支援センターの現状や課題、また、福祉・介護業界等での問題点や課題等を記入してください。
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

9. その他、施設に関する特記事項、上記1～8についての補足やJKAに対する要望等ございましたらご自由にご記入ください。

障がいがあっても環境を整えば色々な力が身についてくる。今後も障がい児の力を引き出せるような環境を作っていく必要があると思われるが、資金面での課題が大きいため、今後も補助を続けてほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。ご協力ありがとうございました。 p2023hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【建築(児童発達支援センター)】